

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 1 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義Ⅰ 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	佐藤 一嘉
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と考え方、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法等について理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、第二言語修得、言語技能、評価に関する英語教育研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。
--	---

授業計画 / Schedule	第 1 回 人文・社会科学研究の動向と考え方 (Introduction to Research methods) 第 2 回 英語学・英語教育学研究の動向と考え方 (Introduction to linguistics and applied linguistics) 第 3 回 研究における科学と研究倫理の在り方 (Research ethics) 第 4 回 研究法（量的研究）の動向と課題 (Quantitative methods) 第 5 回 研究法（質的研究）の動向と課題 (Qualitative methods) 第 6 回 第二言語修得研究の考え方 (Introduction to SLA) 第 7 回 第二言語修得研究の研究法と研究事例 (Research methods in SLA) 第 8 回 第二言語修得研究の成果と課題 (Research issues in SLA) 第 9 回 第二言語教育における言語技能についての考え方 (Second language teaching) 第 1 0 回 第二言語教育における言語技能の研究法と研究事例 (Research methods in SLT) 第 1 1 回 第二言語教育における言語技能研究の成果と課題 (Research issues in SLT) 第 1 2 回 第二言語学修における評価の考え方 (Language assessment) 第 1 3 回 第二言語学修における評価研究の方法と研究事例 (Research methods in LA) 第 1 4 回 第二言語学修における評価研究の成果と課題 (Research issues in LA)（オンライン授業） 第 1 5 回 研究課題の整理と考察 (Summary)
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。
---	---

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 1 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義Ⅰ 日本語学・日本語教育学		

授業担当教員/Faculty	坂本 正
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では，博士後期課程における学修の基礎として，日本語学・日本語教育学研究の動向と考え方，科学的研究と研究者の在り方について学び，その基礎の上に，日本語学・日本語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については，量的研究法・質的研究法等について理解を深め，研究法の学修で得た知識を参考にして，日本語学・日本語教育研究の到達状況と成果について学修して，自律的な研究に進むためのコースワークを行う。
--	---

授業計画 / Schedule	第1回 オリエンテーション 第2回 研究における科学と研究倫理の在り方 第3回 引用の仕方と参考文献の書き方 第4回 日本語学研究の基礎概念 第5回 日本語学研究と生成言語学 第6回 日本語学研究と認知言語学 第7回 日本語教育学研究の動向と考え方と基礎概念 第8回 研究法1（量的研究法） 第9回 研究法2（質的研究法） 第10回 研究法3（混合研究方法） 第11回 第一言語獲得と第二言語習得 第12回 第二言語習得研究の歴史 第13回 第二言語習得研究の研究方法 第14回 第二言語としての日本語の習得研究の現状と課題（online授業） 第15回 まとめ
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み，課題への対応状況，レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書 市川伸一（編）(2019)『教育心理学の実践ベース・アプローチ』東京大学出版会 酒井邦嘉(2019)『チョムスキーと言語脳科学』集英社インターナショナル 近藤ブラウン妃美・坂本光代・西川朋美(2019)『親と子をつなぐ継承語教育 日本・外国にルーツを持つ子ども』くろしお出版
---	--

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 1 期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	特殊講義Ⅰ グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程における学修の基礎として、科学的研究と研究者の在り方について深く学ぶ。そのうえで、人文・社会科学研究、音声・音声習得研究の動向を見極め、音声習得研究に必要な研究法の知識・技能、および専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法の両面からに理解を深めていく。第二言語修得、音声習得、音声評価に関する研究の現況と成果について学修し、自律的な研究を行うことができるようになる。 第14週のみZOOMによるオンライン授業となる。 受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前に連絡する。
--	--

授業計画 / Schedule	第1回 ガイダンス、人文・社会科学研究の動向と考え方 第2回 音声習得研究の動向と考え方 第3回 研究における科学と研究倫理の在り方 第4回 研究法(量的研究)の動向と課題 第5回 研究法(質的研究)の動向と課題 第6回 音声習得研究の考え方 第7回 音声習得研究の研究法と研究事例 第8回 音声習得研究の成果と課題 第9回 中国語音声の特性の検討 第10回 日本語音声の特性の検討 第11回 成人の音声習得に関する研究事例 第12回 成人の音声習得に関する分析と評価 第13回 成人の音声研究に関する課題 第14回 発表 第15回 まとめ
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み，課題への対応状況，レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	授業で配布する。 また、音声分析ソフト（種類は任意）を使用する。
---	-------------------------------------